学習課題（小学校2年生）

【国語】

〈学習内容〉

◆「だいじなことばに気をつけて読み、分かったことを知らせよう『おにごっこ』」（きょうかしょ㊦83～93 ページ）にとり組みます。

(1) 84～89 ページを音読しましょう。

(2) この文しょうは、何についてせつめいしているのかたしかめて、ノートやとりくみシートに書きましょう。
※せつめいする文しょうでは、はじめのほうに書かれていることが多いです。

この文しょうは、［　　］について、せつめいしている。
のように、まとめてみましょう。

(3) 「おにごっこ」に出てくるあそび方の中で、知っているあそびや、したことがあるあそびがありますか。「おにごっこ」をもういちど読んでたしかめましょう。さし絵もさんこうになりますね。

(4) 「おにごっこ」には、どんなあそび方が出てきましたか。また、そのあそび方には、どんなおもしろさがあるでしょう。だいじなことばを３まい目のワークシートやノート、とりくみシートに書きましょう。
※ワークシートには、１つめに出てきたあそびかたをまとめてあります。まとめ方のさんこうにしましょう。

(5) にげる人だけが入れるところを作ったり、つかまらないときをきめたりするあそび方を、もっとおもしろくするために、あなたならどんなくふうをつけ足（た）しますか。考えたことをおうちの人につたえたり、ノートやとりくみシートに書いたりしましょう。

(6) おにごっこや、ほかのあそびについて調べて、そのあそび方をおうちの人にせつめいしましょう。
＜しらべかた＞
①93 ページに「本でのしらべ方」がのっています。音読し、本をつかって調べるときにさんこうにしてください。
②本で調べることがむずかしいときは、おうちの人に子どものころにしたあそびをきいてもいいですね。

◆「ようすをあらわすことば」（94～97 ページ）にとり組みます。

(1) 教科書 94 ページから 97 ページを音読しましょう。

(2) 97 ページの３枚の絵を見て、あらわされているようすをそれぞれ文にしてみます。文にするときは、ようすをあらわす言い方のうちのどれかをつかいましょう。文はノートやとりくみシートに書きましょう。

たとえば、97 ページ上から２まい目のねこの絵では、どのようにねむっているかをくわしくあらわすために、□にあてはまることばを考えて文にしてみてもいいですね。

ねこが、□ねむっている。

◆あたらしいかん字「走(86 ページ)」～「遠(98 ページ)」まで、ノートやとり組みシートにれんしゅうしましょう。

【書写】

しょしゃの教科書 20～22 ページにとり組みます。

(1) 20 ページのかん字を画のつき方と交わり方に気をつけて、ゆびでなぞってみましょう。

(2) 21～22 ページのかだいに、とり組みましょう。

※ノートやとりくみシートにうつしてとり組んでもいいです。

＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

・「おにごっこ」では、説明されている遊び方をまとめます。「この段落にはどんな遊び方が説明されているかな。」と、質問してあげると、大事な言葉に気付きやすくなります。

・おにごっこや他の遊びを調べるときに、本を入手することが困難なことも考えられます。そういう時は無理をしないで、子どものころにした遊びを教えてあげてください。

	1	2	3		調べたあそび方
あそび方	にげてはいけないところをきめる あそび方			（つけ足したあそび方）	
あそび方のおもしろさ	にげてはいけないところをきめることで、おには、にげる人をつかまえやすくなる。				

あなたがつけ足したくふう